

■ 「地域と共にある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」

大崎町教育委員会は、7年前に学校運営協議会制度をスタートし、さらに今回、地域学校協働活動を進めて参ります。この2つの取り組みは、大崎の児童生徒の学びと成長を支え、地域・学校・社会が相互に連携・協働する体制を推進していきます。これまで、大崎中学校では「土曜授業の開校、養蜂活動」を実施したり、菱田小では「菱田の明日を語る会」を開催したりするなど、活発な活動が展開されています。

10月9日には、学校運営協議会と地域学校協働活動推進委員会の代表者による合同委員会を開催しました。互いに、強い絆を感じられる会になりました。

これを機に、体制を強化し、今後の活動を支援していきます。町民の皆様のご理解・ご協力をお願いします。



【合同委員会のメンバー】

第37回 曾於地区 児童生徒の「健康に関する標語」



「ねこだって 顔をあらうよ わすれずに」

菱田小学校 3年 木村 ^{みずき} 瑞希

「9時オフで スマホと自分 じゅうでんだ」

大崎中学校 1年 亀澤 ^{りおん} 莉音

僕の夢 私の夢 『みんなを笑顔にするために』

No.48 大丸小学校 6年 吉本 ^{あいか} 愛叶

私の将来の夢は、トリマーだ。トリマーとは、ペットの毛を整える「トリミング」を行ったり、爪切りや耳掃除を行ったりする仕事である。

きっかけは、私の家で飼っているチワワをサロンに連れていった時のことだ。その時の店員さんがトリミングを行う際に、てきぱきと無駄のない動きで毛をカットしたり、シャンプーやブローを行ったりする姿を見て、すごいなあ、と思ったことが始まりである。

私は、トリマーは動物たちを怖がらせないように、てきぱきと無駄のない動きで作業を行っていくことが大切なのではないかと思った。また、動物が怖がらないよう、優しく声をかけながら安心させた上で、作業を行うことも必要だと感じた。そして、飼い主さんの要望に寄りそい、「またお願いしたい」と思ってもらえるよう、技術を磨くことも大切だ。

まだまだ先のことのように思えるが、しっかりと将来の自分に向けていきたい。そのためにも、これからたくさん勉強を頑張ったり、トリマーになるために必要なことは何かを調べ、できることは今のうちから取り組みたい。

